



ひよこ組

1月のねらい

- ・保育者の見守りの中、手づかみやスプーンを使って自分で食べる。
- ・生活する中で“自分でやりたい”という気持ちを受け止めてもらい、満足感を得る。

<自分で出来るようになりました!毎日食欲旺盛なこどもたち>

後期食、完了食、幼児食にそれぞれ進み、食事形態にも慣れてきて手づかみやスプーンを使って食べ、食欲も旺盛です。毎日給食のワゴンが来るのを今か今かと楽しみに待ち、来たと分かる则ち一目散で食事スペースの近くで“今日のメニューは何かな~?”、“僕、私の順番かな~?”と待ち遠しそうにしています。

高月齡のこどもたちはスプーンを使って食べています。最初はスプーンですくって食べることは難しかったのですが、その都度スプーンを一緒に持ってすくって食べてみたり、持ち方を知らせてあげる中で徐々に自分でスプーンですくって食べるのが上手になってきました。

また、「もっと食べたいの~!」と泣いて席を立たなかったり、器が空になるとワゴンを指差し「おかわりそこにあるでしょ」とばかりに催促し、なかなか席を立たない姿もあります。おかわりを皿に入れてもらえると笑顔になり、満足してごちそうさまが出来ます。

低月齡のこどもたちも自分で食べるが増えてきて、お皿におかずをのせてもらおうと喜んで手でつかんで食べています。口の中に食べた物がなくなると“次にちょうだい~!”と言っているかのように「あ、あっ」、「うっうっ」と声を出して主張する姿も見られます。お茶碗やコップなども両手で持ちスープやお茶をこぼさず飲めるようにもなりました。今では何でも自分でやりたい、やってみようという意欲が強くなっています。

食欲旺盛ですが段々と味覺が発達し好き嫌いも出てきます。今まで何でも食べていたのに口に運ぶと顔を背ける姿が見られるようになってきました。こどもたちの気持ちを尊重しながら無理なく食事を進めていこうと思っています。自分でやりたいという意欲を受け止め、食事を楽しく満足できる時間にしていききたいと思います。





りす組

1月のねらい

- ・動作や言葉で気持ちを伝える。
- ・大人に手伝ってもらいながら、自分で着替えようとする。

<ある日の子どもたちのつぶやき>

- ◇ (踊っている幼児さんの姿を見て)「すてきだね」 (空になったお皿を見て)「ないねー」
- ◇ (お昼寝から目覚めて、職員に)「ふとんたたんでくれる?」
- ◇ (大きいうちを見て)「パパ」、(小さいうちを見て)「ママ」
- ◇ (手を洗おうと誘われて)「やだもん」 (早く目覚めた子が、友だちが起きたのを見て)「あら、**子どもたちがおきちゃった**」 (友だちの靴があって自分の靴が置けない子が)「せまい!」
- ◇ 「 (友だちの名前)」(と、ちゃんに呼びかける)
- ^ (まだ出勤してこない職員のことを)「 **さん、おそばんかぁ**」

子どもたちの口からは毎日たくさんの言葉が飛び出てきます。何かを見て感じたこと、大人にやって欲しいこと、見た物を別のことに例えて言葉遊びをしたり、その時の気持ちを表したり、物、色、人の名前などなど内容は多岐にわたり、昨日は言ってなかったよねと驚くこともしばしば、伝えたい気持ちが言葉で伝わり、感動します。

どの子も、これからどんどん言葉が増えていくことでしょう。うまく話せなくてイライラすることもあるかも知れませんが、「～がしたかったんだね」と気持ちを受けとめ、一生懸命伝えようとする子どもたちの声に耳を傾け、共感して、気持ちを通わせていきたいと思っています。



うさぎ組

1月のねらい

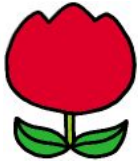
- ・休み明けの生活リズムを整えながら、安心した気持ちで過ごす。
- ・友だちや保育者と一緒に正月遊びを楽しむ。

<お話しするのが楽しい!>

あけましておめでとうございます。年末年始、どんなお休みを過ごされたのでしょうか。きっと、「〇〇したんだよ!」「〇〇食べたよ!」とお休みの日の出来事をキラキラした顔でお話ししてくれるのかなと思うのが楽しみです。

保育者とのお話しも楽しんでいますが、友だち同士でお話しする姿もたくさん見られます。「どうしてハトが怖いの?」「だって怖いんだよぉ」「大丈夫、大丈夫ハトかわいいよ。」とクスッと笑ってしまうような会話や、メニュー表を渡し「何がいいですか?」「辛いのが大好き!」「はい!辛いのですね!」と店員さんとお客さんになりきってやりとりしていたり、はらぺこあおむしの絵本の言葉を覚えていて「げつようび~りんごをひとつ~」と数人で歌ってみたりと、毎日賑やかな声や会話が飛びかっています。「なんで?」「どうして?」と色々なことを不思議に思って、質問をしてくる子どもも増えていきます。気になることに答えてもらうことで、言葉の世界がぐんぐん広がっていきます。「なんで?なんで?ばかりでちょっとめんどうだな~」と感じることもあるかもしれませんが、子どもたちが発する言葉に耳を傾け、「お話しするのが楽しい!」と思えるように関わってあげたいと思います。





ちゅうりっぷ組



1月のねらい

- ・コマやカルタなどの伝承あそびに興味をもち遊ぶ。
- ・食事のマナーを意識して、食事を食べる。

<食事>

今月は子どもたちの食事について食べ方、スプーンの持ち方、姿勢など、丁寧にみていきたいと思います。自分で食べられるもの、食べられる量を自分で決めて、食事を配膳しています。

配膳が終わり、「いただきます」のあいさつの前に、食器の位置を確認しています。「おかずは真ん中」「汁はこっち側(右側)」等声をかけていくと、「これであってる?」「汁はこっちで良い?」と自分たちで正しい位置を確認するようになってきています。

スプーンやフォークの持ち方も、みるようにしています。握り持ちの子がまだまだ多いので、正しい持ち方を知らせています。なかなかうまく持てなくても、「そうやって持つと、お姉さんみたいで素敵だね」などと誉め言葉をかけると、やる気になって、それを聞いていた他の子も、「こう?こう?」と進んで持ち方をかえて食べようと頑張っています。

また、食事を食べる姿勢も「前を向いて食べる」「肘をつかない」「食器をもう片方の手で支える」等意識できるように、必要に応じて言葉をかけ、ひとりひとりの様子を見て意識できるように関わっています。スプーンですくえず、手で食べたり、皿や茶碗に口をつけてかき込む、こぼしたことに気が付かない、汁やおかずをご飯にかけたり混ぜたりして食べるなどなど気になる姿があります。子どもたちにとって、口うるさい言葉にならないように気を付けながら、園だけではなく、家庭でもきちんと教えてあげてください。楽しくきれいに食べられると良いですね。



さくら組



1月のねらい

- ・正月や冬ならではの遊びの楽しさを友だちと共有する
- ・体を動かしたり丁寧に手洗いをするなど、寒い冬を元気にすごせるようにする。

<朝の支度>

登園してホールに来ると、「今日ひとりで支度してきたんだよ」「え～そうなの?すごいじゃない」「ノートと口拭きタオル、着替えを入れてきたんだよ!」と嬉しそうに報告してくれるようになってきました。自分一人で行ったことがとても嬉しいようで、くるくる回り、ウキウキした気分です。そのことがきっかけになり、次々と「今日一人で支度してきたんだよ」と報告してくる子が増えてきました。そんな中突然、自分で支度している子たちが「支度は自分でやるんだよ。だってもみじ組になるんだから」と話をしました。すると焦った子たちは「お母さんにはやってもらってないよ」「ちょっとは自分でやっているよ」など言い、この言葉は周りの子どもたちを刺激しているようです。

自分のできることは『自分でやってみる』ことが必要です。「かばんを自分で持ち、中からノートを出す」などできることから始め、自信に繋がるといいですね。



もみじ組



1月のねらい

- ・伝統行事や伝承遊びを通して、日本の文化にふれる。
- ・集団遊びのルールなど、友だち同士で試行錯誤しながら遊びを広げていく。



<こんなことができるようになりました!>

もみじ組にとって最後となる成長を祝う会。当日に子どもたちが見せてくれた自信に満ちた表情、素敵でしたね。

最初の話し合いで、「お父さんやお母さんに、どんなことを見てもらいたい?」と問かけると、一番に拳がったのは「縄跳び」でした。その言葉から「くんは、あやとり名人じゃん!」「(お泊まり会で)カレー作れるようになったよね」と、どんどん子どもたちの“特技”や“できるようになったこと”が拳がっていき、今回は今までとは一味違った“特技披露”という形のステージをつくりあげることになりました。

ホールに舞台が出た日から、実際に舞台にのって“どんなステージにしようか?”ということイメージし始めました。「ただ『カレーが作れるようになりました』だけじゃ...ねえ?」「じゃあ、作り方を教えてほしいんじゃない?」とクッキングの流れや必要な物を考えたり、「ヨガってどんな風にやるの?」「こうやって、ポーズして止まるの!」とそれぞれの特技について興味をもち理解を深めたり...。ステージ練習以外の場面でも、「見て!(LaQで)包丁つくったの~」「(だじゃれのステージには)マイクが必要じゃない?」と、普段の遊びの中で技に磨きがかかっていきました。

一人一人が自分の成長した部分に自信をもち、「友だちと一緒にひとつのものを作り上げる」という経験をした子どもたち。卒園まであと3か月の間にも、またググッと成長した姿を見せてくれそうですね。

